

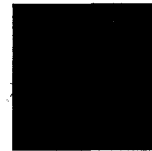
(様式第9)

保健衛生大学病院12号

平成19年10月2日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人
理事長 山路正



藤田保健衛生大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	163人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	407人	38.5人	445.5人	看護業務補助	59人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	8人	3.3人	11.3人	理学療法士	20人	臨床 臨床検査技師	100人
薬剤師	57人	0人	57.0人	作業療法士	12人	衛生検査技師	0人
保健師	2人	0人	2.0人	視能訓練士	4人	検査 その他	0人
助産師	11人	0人	11.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	921人	6.1人	927.1人	臨床工学技士	25人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	14人	1.3人	15.3人	栄養士	8人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	201人
管理栄養士	22人	0人	22.0人	診療放射線技師	66人	その他の職員	64人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	1,122.1人	16.1人	1,138.2人
1日当たり平均外来患者数	1,857.1人	83.0人	1,940.1人
1日当たり平均調剤数	2,122剤		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数を(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水泡症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病の DNA 診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人
・神経変性疾患の DNA 診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症の DNA 診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31 燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症の DNA 診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)の RNA 診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症 BCG 副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患の DNA 診断	有・無	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block (MAB) 治療	有・無	人
・Q 熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化 T リンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験 (CD-DST 法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・無	人
・顎顔面補綴	有・無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・無	人
・歯周組織再生誘導法	有・無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/>	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input type="radio"/>	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input type="radio"/>	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/>	人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/>	人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/>	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/>	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input type="radio"/>	人
インプラント義歯	有・ <input type="radio"/>	人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/>	人
人工中耳	有・ <input type="radio"/>	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input type="radio"/>	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/>	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/>	人
生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/>	人
活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/>	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/>	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/>	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/>	人
超音波骨折治療法	有・ <input type="radio"/>	人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/>	人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/>	人
非生体ドナーから摂取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/>	人
X線 CT 診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/>	人
定量的 CT を用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/>	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	54人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	35人
・多発性硬化症	37人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	35人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	53人
・全身性エリテマトーデス	369人	・多系統萎縮症	20人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	26人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	88人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・筋萎縮性側索硬化症	13人	・原発性胆汁性肝硬変	14人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	216人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	70人	・特発性大腿骨頭壊死症	29人
・結節性動脈周囲炎	30人	・混合性結合組織病	45人
・潰瘍性大腸炎	215人	・原発性免疫不全症候群	8人
・大動脈炎症候群	17人	・特発性間質性肺炎	0人
・ピュルガー病	21人	・網膜色素変性症	13人
・天疱瘡	10人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	39人	・原発性肺高血圧症	6人
・クローン病	221人	・神経線維腫症	6人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	7人	・バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	98人	・特発性慢性肺血栓栓症（肺高血圧型）	6人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病（ファブリー [Fabry] 病）含む	9人
・後縦靭帯骨化症	42人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	3人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理部門との症例検討会 72回		
剖 検 の 状 況	剖検症例数	59 例	剖検率 8.6 %

(様式第 1 1)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
ヒトノゲム・再生医療等研究事業「骨髄・末梢血等を利用した効果的な造血細胞移植の運用・登録と臨床試験体制の確立並びにドナーおよびレシピエントの安全確保とQOL向上に関する研究」	江崎 幸治	血液・化学療法科	500 千円	厚生労働省 科学研究費 補委
急性骨髄性白血病抗原に対する網羅的検索と新規抗体療法開発のための基礎的研究	山本 幸也	血液・化学療法科	2,000 千円	文部科学省 科学研究費 補委
CD34 陽性細胞を用いた難治性膠原病に対する自己末梢血細胞移植の応用	江崎 幸治	血液・化学療法科	700 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委
亜硫酸を用いた再発 M3 白血病の治療法の開発	恵美 宣彦	血液・化学療法科	600 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委
びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における細胞起源の同定と治療成績との関連性の研究	岡本 昌隆	血液・化学療法科	200 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委
凝固第 VII 因子欠乏家系の遺伝子異常と異常蛋白の機能解析	丸山 文夫	血液・化学療法科	200 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委
細胞表面マーカー及び FISH 法を用いた残存白血病細胞の検出	水田 秀一	血液・化学療法科	200 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委
B 細胞性悪性腫瘍における免疫グロブリン free light chain の臨床的意義の検討	渡辺 正人	血液・化学療法科	200 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委
急性骨髄性白血病抗原に対する網羅的検索と抗体療法薬開発のための基礎的研究	山本 幸也	血液・化学療法科	300 千円	日本私立学校振興 共済事業団 補委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
自己免疫疾患における抗内皮細胞抗体の対応抗原の新規検出法の確立	吉田 俊治	リウマチ・感染症内科	1,000 千円	補委	21 世紀 COE プログラム研究拠点形成費補助金
MCTD の PH に関する自己抗体の検討	吉田 俊治	リウマチ・感染症内科	2,000 千円	補委	厚生労働省科学研究費
高安動脈炎における抗内皮細胞抗体の検討	吉田 俊治	リウマチ・感染症内科	1,000 千円	補委	厚生労働省科学研究費
膠原病における感染症の早期診断についての検討	吉田 俊治	リウマチ・感染症内科	3,473 千円	補委	オープンリサーチセンター整備事業
膠原病患者におけるサイトメガロウイルス (CMV) 感染に関する検討	深谷 修作	リウマチ・感染症内科	400 千円	補委	藤田学園教員研究助成費
インフリキシマブ使用関節リウマチ患者における human anti-chimeric antibodies(HACA)の検出	吉田 秀雄	リウマチ・感染症内科	300 千円	補委	藤田学園教員研究助成費
IgA 腎症の成因と治療法の検討 -ヒト IgA1 系球体沈着動物モデル作製とその適用-	比企 能之	腎内科	1,000 千円	補委	文部科学省科学研究費
IgA 腎症の成因と治療法の検討 糖鎖不全 IgA の系球体沈着機序とその生産機序	比企 能之	腎内科	1,000 千円	補委	21 世紀 COE プログラム
IgA 腎症マーカーとしての簡便な IgA1 ヒンジ部糖鎖解析法の開発	比企 能之	腎内科	3,000 千円	補委	バイオテクノロジー開発技術研究組合
白血球系細胞除去療法による顆粒球上 TNF レセプター、CD63、CD63b の変動	長谷川みどり	腎内科	100 千円	補委	愛知腎臓財団
透析患者血清中のメラニン関連代謝物の動態	村上 和隆	腎内科	100 千円	補委	愛知腎臓財団

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
老人施設・在宅における高齢者排泄リハビリテーションに関する施設評価基準の作成と地域モデルの開発 在宅における評価基準の評価と問題点・課題の抽出	中井 滋	腎内科	100 千円	厚生労働省 科学研究費 補委
SELDI-TOFMS lectin assay による IgA1 ヒンジ部 O 結合型糖鎖構造異常の解析	高橋 和男	腎内科	400 千円	愛知腎臓財団 補委
ヒト臍帯静脈血管内皮細胞における細胞内 BH4 と細胞接着分子 VCAM-1 の関連性	松本 崇	内分泌代謝内科	1,000 千円	私学振興・共済事業団 大学院高度化推進特別経費—大学院整備重点化経費—研究科特別（学生分） 補委
人工抗体を用いた脂肪細胞制御	伊藤 光泰	内分泌代謝内科	800 千円	文部科学省 21 世紀 COE プログラム 補委
抗ガングリオシド抗体による神経細胞機能障害の機序解明	武藤多津郎	神経内科	1,400 千円	文部科学省 科学研究費 補委
アルツハイマー病をはじめとする変性痴呆疾患と糖脂質代謝異常	武藤多津郎	神経内科	2,200 千円	文部科学省 科学研究費 補委
脱髄性自己免疫疾患の発症機序におけるアストロサイトの役割の解明	原 英夫	神経内科	1,100 千円	厚生労働省 補委
統合失調症株化末梢血を用いた診断法の開発	岩田 仲生	精神科	3,000 千円	文部科学省 科学研究費 補委
概日リズム障害と気分障害を包括的にとらえたゲノム医学的研究	北島 剛司	精神科	1,100 千円	文部科学省 科学研究費 補委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
症状特性によるグルーピングに留意した統合失調症の5-HT系候補遺伝子研究	鈴木 竜世	精神科	1,100 千円	補委	文部科学省 科学研究費
カルシニューリン系候補遺伝子の研究	木下 葉子	精神科	1,800 千円	補委	文部科学省 科学研究費
神経難病の病態解明と再生医療的および遺伝子治療的新規治療法の開発	岩田 仲生	精神科	4,450 千円	補委	私立大学等経常費 補助金
抹消血サンプルを用いた統合失調症診断法の開発	岩田 仲生	精神科	4,600 千円	補委	私立大学等経常費 補助金
ニコチン性アセチルコリン受容体遺伝子多型と統合失調症の関連解析	岩田 仲生	精神科	1,000 千円	補委	私立大学等経常費 補助金
医療面接で心理的対応と支持的精神療法を獲得するための教育法の確立	岩田 仲生	精神科	400 千円	補委	私立大学等経常費 補助金
統合失調症抹消血を利用した診断法及び治療反応性予測法の開発	岩田 仲生	精神科	2,000 千円	補委	21世紀 COE プログラム研究費
統合失調症の生物学的病態解明と予防・治療法の開発	岩田 仲生	精神科	2,500 千円	補委	厚生労働省 科学研究費
HHV-6、HHV-7自然歴の解明：残された疑問点の完全解決を目指し	浅野 喜造	小児科	4,600 千円	補委	文部科学省 科学研究費